

令和2年度 広島市の学校におけるいじめ防止対策及び働き方改革推進フォーラム

「いじめ防止対策及び働き方改革の推進モデル校」実践発表



広島市立五日市中学校

学級数 29学級

生徒数 878名

(令和2年5月1日現在)

モデル校として2年間の流れ

1年次 意識改革

- 1 ミニ研修による自身の働き方に対する意識向上
- 2 負担になっている業務の見直し

2年次 取組の継続発展

- 3 スクールサポートスタッフや部活動指導員の有効活用
- 4 定時退校日・会議のペーパーレス化・学校マニュアル作成等
- 5 採点システムの活用
- 6 安心して生活できる学校づくり

1年次 意識改革

1 ミニ研修による自身の働き方に対する意識向上



2

負担になっている業務の見直し

①部活動

放課後の練習に土日の試合
技術指導ができないことも精
神的に負担

②会議の時間

かかりすぎ。放課後16時から
の会議では勤務時間内に終
わるはず

③こまごまとした仕事

安全点検・電話応対・教室
整備・校区内の見守り活動

④多くのプリント類印刷する
にも配付するにも大規模校だ
と大人数。時間がかかる。

⑤生徒指導

生徒への指導だけでなく情
報や方針共有のための会議
や保護者連絡に時間がか
かる。



①部活動



- 放課後の練習、土・日の試合など時間を取られる。
- 技術指導ができないことが精神的に負担。

平日1日・休日1日の部活動休養日の徹底
部活動指導員の導入

②会議の時間



- 会議の時間がかかりすぎる。放課後16時からの会議では勤務時間内に終わるはずない。
- 進路にかかわる会議・生徒指導にかかわる会議、生徒数が多いと抱える件数も多い。それだけ時間もかかる。

会議のルールをつくる

部会・学年会・職員会議の日は5時間授業にする

職員会議ではプリントに書いてあることは読まない

③こまごまとした仕事



- 安全点検・校区内の見守り活動(祭り・夜市・長期休業中)
- 電話対応 朝の欠席・遅刻連絡 地域からの電話
- 教室整備 日々の清掃・メンテナンス 年度末の教室内清掃 エアコン・物品の点検準備

可能なところから廃止したり簡素化の工夫をしたりする

安全点検の押印の簡素化

留守番電話の設定

見守り活動の簡略化

④多くのプリント類



- 印刷するにも配付するにも大規模校だと大人数で時間がかかる。
- プrintの整理がついてなく、必要な時に探すのに時間がかかる。

スクールサポートスタッフの活用
職員会議のペーパーレス化
コンピュータ・サーバー内のルールの確立
職員室の大掃除

スクールサポートスタッフに 印刷業務を依頼



スクールサポートスタ
ッフに作成を依頼した
百人一首の教材

印刷作業をする
スクールサポート
スタッフ



⑤生徒指導



- 急な生徒指導によってしようと思っていた仕事が後回しになり、生徒指導が一段落した後残ってすることになる。
- 学年の人数が多い分、生徒指導も多くなる。
- 丁寧な指導を心がければ、その分時間がかかる。
- 方向性が見えなかったり、教職員のベクトルがそろわなかったりすると疲労感がつのる。

予防的な生徒指導で教職員のベクトルを合わせる
教職員全員による教育相談 学級力アンケートの実施

〈昨年度の成果〉

目標である「意識改革」はある程度達成

年度当初と比較して、あなた自身の働き方改革についての意識は高まりましたか。

肯定的評価 82%

スクールサポートスタッフ・留守番電話・部活動指導員の活用・学校閉庁日の設定は有効であることがわかった

スクールサポートスタッフの活用により長時間労働が解消(緩和) 肯定的評価 71%

留守番電話の設置により長時間労働が解消(緩和) 肯定的評価 76%

学校閉庁日の拡大により休暇取得できた 肯定的評価 72%

〈今年度への課題〉

勤務時間外在校等時間の削減



そのために

- ③ スクールサポートスタッフや部活動指導員の有効活用
- ④ 定時退校日・会議のペーパーレス化・学校マニュアル作成等
- ⑤ 採点システムの活用

〈もう一つの課題〉

生徒指導上の問題が起こると
時間外勤務が増える



未然防止・早期発見・早期解決が鍵



安心して生活できる学校づくり

2年次 取組の継続発展

- ③ スクールサポートスタッフや部活動指導員の有効活用
- ④ 定時退校日・会議のペーパーレス化・学校マニュアル作成等
- ⑤ 採点システムの活用
- ⑥ 安心して生活できる学校づくり

ここで取り上げる3つの取組

①部活動指導員の有効活用

②定時退校日・会議のペーパーレス化

③採点システムの導入

①部活動指導員の有効活用

部活動指導員の取り組み

今年度導入

それぞれの種目の技術指導ができる部活動指導員

- 技術指導ができない顧問の負担感を軽減
- その種目の技術指導ができる指導員に年間200～500時間程度来てもらう

各運動部活動を横断的に指導する部活動指導員

- 部活動指導員がついていない部活動顧問の負担軽減のため新たに試行
- ストレッチ・体幹トレーニングなどを中心に全運動部活動を順番に指導してもらう

それぞれの種目の技術指導ができる部活動指導員 2つの部で導入

テニス部

部員 67名

顧問2名 競技
経験若干あり

本年度全国大会
出場 経験者生
徒も入学 生徒た
ちの意欲と競技レ
ベルの高さに応え
たい

バドミントン部

部員142名
男子48名
女子94名

顧問5名 競技
経験なし

校内で1番のマン
モス部活 専門的
な技術を持った人
についてもらい多く
の生徒にバドミント
ンの楽しさを教え
たい



バドミントン部の指導員

平日1日活動。休日は大会・練習試合などに活動。
技術指導を担当。



テニス部の指導員

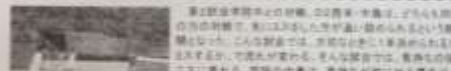
平日4日・休日1日の部活時間にほぼ活動。
会計以外の部活動の仕事をほぼ担当。
運営方針などを決めている。
大会では監督を務める。

臥薪嘗胆 (テニス部ニュース) 2019/11/11/20

11/24全国選抜県予選 団体優勝! 中国予選を突破し、全国への道を!

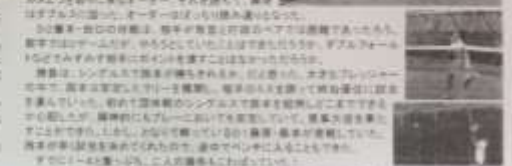


11/24 全国選抜県予選 団体優勝!	11/24 全国選抜県予選 団体優勝!
11/24 全国選抜県予選 団体優勝!	11/24 全国選抜県予選 団体優勝!

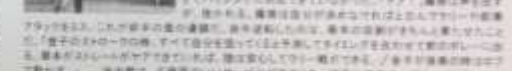


11/24 全国選抜県予選 団体優勝!

中国予選を突破し、全国への道を!



11/24 全国選抜県予選 団体優勝!	11/24 全国選抜県予選 団体優勝!
11/24 全国選抜県予選 団体優勝!	11/24 全国選抜県予選 団体優勝!



試合の経過などを書いたテニス部通信も
部活動指導員が作成

終わりのミーティング



各運動部活動を横断的に指導する部活動指導員

- 目的

全ての運動部部活動顧問の負担軽減

指導員2名

今年度導入

【木曜日】

理学療法士

【火曜日】

ダイエットスタジオ経営

パーソナルトレーナー

- 1～2つの部活動を指導員が指導
- ストレッチ・体幹トレーニング・筋トレ・ラダー・ランニングなどのトレーニングを中心に指導員が計画を立て実施



計画・運営の動き

- スケジュールは、働き方改革担当が部活顧問の希望を聞きながら調整
- 活動場所は部活動での練習場所や柔道場
- 顧問は原則部活動にはつかず、その時間を有効活用し、退校時間を早めるよう努力する。

一回目の練習の時には、顧問がつくことも多かったが、二回目以降、任せることができるようになった

当日の様子

～16:10 活動場所の解錠・準備

16:10 生徒を集める

あいさつ

出席確認・健康観察

〈 活 動 〉

17:40 活動終わり

健康観察

評価とあいさつ

18:00 下校指導(更衣後生徒が下校するまで正門付近で指導)

片付け・施錠(必要に応じて)

記録を記入し、次回の確認をする。(何かあれば管理職に報告)

勤務終了



トレーニングの日は 3ヶ月に2、3回くらい のペース

- 一つの部活動に年間5, 6回程度トレーニングの日が回ってくる。(今年度は8月からスタートしたので6回程度になる)
- たとえば、10月～12月の3ヶ月で2回分のトレーニングを受けることができる。

6 10月～12月の部活動指導員によるトレーニング割当

日にち	参考	部活名	人数	場所
10月 1日(木)		ソフテ 28	28	保健教室
8日(木)		水泳 15	15	保健教室
13日(火)		卓球女 17 バレー 14	31	柔道場
15日(木)	12年懇談 再登校	バスケ女 16	16	保健教室
20日(火)	掃除なし	バド女 64	64	柔道場
22日(木)	生徒会委員会	バスケ男 36	36	柔道場
27日(火)		テニス 40	40	柔道場
29日(木)	3年進路懇談	サッカー 25	25	保健教室
11月 5日(木)		剣道 11 ソフテ 28	39	剣道場
10日(火)	3年テスト	体操 19 バド男 20	39	柔道場
12日(木)		卓球男 36	36	柔道場
17日(火)	教育相談	陸上 29 バレー 14	29	保健教室
12月 1日(火)		野球 28	28	保健教室
3日(木)		バスケ男 36	36	柔道場
8日(火)		サッカー 25	25	保健教室
10日(木)	3年懇談	体操 19 バド男 20	39	柔道場
15日(火)		陸上 29 バレー 14	43	柔道場
17日(木)		剣道 11 卓女 17 バス女 16	44	剣道場
22日(火)		卓球男 36	36	柔道場
24日(木)	12年懇談	野球 28	28	保健教室

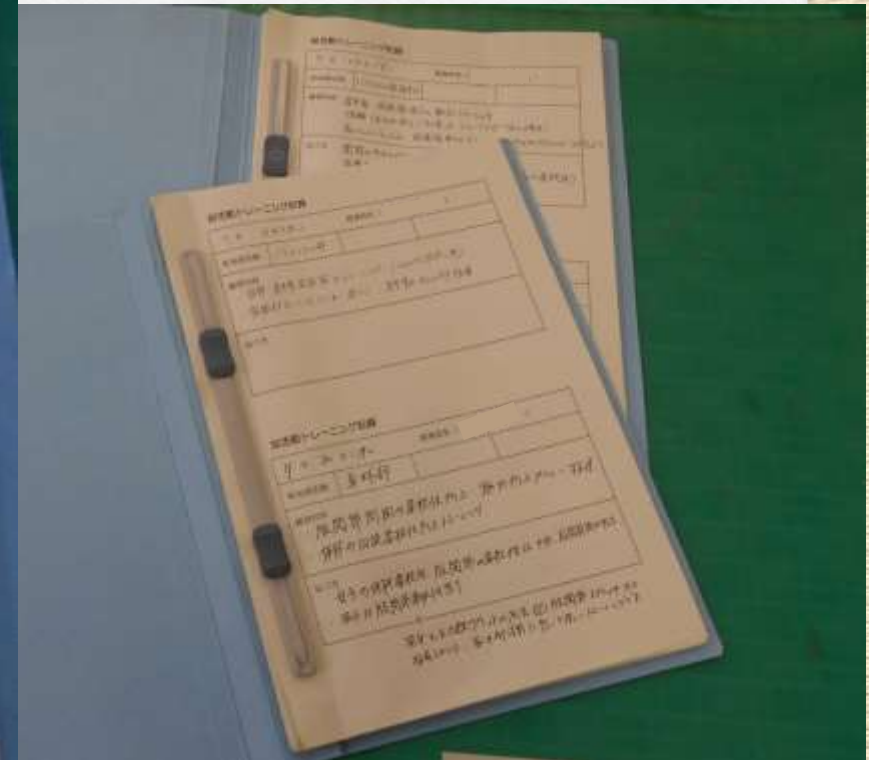
たとえば
バレー部の
場合

3ヶ月に2,3日

10月 1日(木)		ソフテ 28	2 8	保健教室
	(木)	水泳 15	1 5	保健教室
	(火)	卓球女 17 バレー 14	3 1	柔道場
	(木)	12 年懇談 再登校	1 6	保健教室
20日(火)	掃除なし	バド女 64	6 4	柔道場
22日(木)	生徒会委員会	バスケ男 36	3 6	柔道場
27日(火)		テニス 40	4 0	柔道場
29日(木)	3 年進路懇談	サッカー 25	2 5	保健教室
11月 5日(木)		剣道 11 ソフテ 28	3 9	剣道場
10日(火)	3 年テスト	体操 19 バド男 20	3 9	柔道場
12日(木)		卓球男 36	3 6	柔道場
17日(火)	教育相談	陸上 29 バレー 14	2 9	保健教室
12月 1日(火)		野球 28	2 8	保健教室
3日(木)		バスケ男 36	3 6	柔道場
8日(火)		サッカー 25	2 5	保健教室
10日(木)	3 年懇談	体操 19 バド男 20	3 9	柔道場
15日(火)		陸上 29 バレー 14	4 3	柔道場
17日(木)		剣道 11 卓女 17 バス女 16	4 4	剣道場
22日(火)		卓球男 36	3 6	柔道場
24日(木)	12 年懇談	野球 28	2 8	保健教室

指導員は指導記録をつける 顧問はいつでも見ることができる

部活動トレーニング記録		
8月25日(火)		指導員名()
参加部活動	サッカー部 28名+14名 30名(44名)	
練習内容	体幹部の柔軟性トレーニング ランジ・バックレイズ等 股関節・腰部のトレーニング リクエストにより 腹斜筋・背筋等のトレーニング	
気づき	体幹部 意識できない部分が多い ウォーキングランジは比較的安定している。 股関節痛を訴えている(グリーンペン)子が1名	



部活動トレーニング記録

8月 27日(木)

指導員名 ()

参加部活動

バスケット女子 14名

卓球男子 27名

練習内容

- ・ 閉眼で運動イメージの確認 - コーディネーショントレーニング (リズム)
- ・ マーカーでアジリティトレーニング
- ・ バッケーポジションの指導 27フットランジ (4秒停止・パフォーマンス向上)

気づき

- ・ 下肢の運動イメージが欠乏しているので鏡での練習を指導しました。
- ・ 下肢動作において、肘関節をうまく使えていない生徒が多い (男女ともに) 42フット指導
- ・ 腹圧がかけやすい生徒が多く、腹圧トレーニング指導しました。

部活動指導員の横断的活用を導入して

- 8月から12月の期間導入した運動系部活動

15部活動中15部

100%

- 次の1月から3月も利用したいと回答した部活動顧問

15部活動中15部

【アンケートより】

運動系部活動を横断的に指導する部活動指導員の導入が、時間の確保や負担軽減につながったと思いますか。

肯定的評価65.9%

部活動指導員の横断的活用を導入して



- 生徒の意識向上

専門的にトレーニング法を教えてもらえるために生徒も意欲的に取り組んでいた。また、けが防止の意識も高まった。

- 顧問の精神的負担軽減

指導員がつく日の部活動については集合から解散まで任せることができる。

- 顧問の時間的負担軽減

各運動部活動を横断的に指導する部活動指導員がつくことによって、一部の部活動に偏らず、多くの顧問の時間軽減につながった。



部活動指導員のより有効な活用に向けて

- 顧問の精神的・時間的な負担軽減のため、部活動指導員の活用は重要である。
- どのような部経営をするのかについて、学校と部活動指導員の連携は欠かせない。
- どの部活で指導員を導入するか、顧問の状況だけでなく、学校運営全体を見据えた検討が必要である。
- 多くの部活動で土日の指導や試合を部活動指導員が担うようにすべきである。
- 運動部活動の地域スポーツへの移行が求められている中、懸案となることが多いが、全ての部活動を指導員とすることも一つの案になるのではないか。

②定時退校日・会議のペーパーレス化

定時退校日

毎週水曜日は部活動・会議なし
定時退校を呼びかけ

本日 12月 23日(水)

職朝 X
朝読 O
そうじ O

1 ~ 6 h
給油日

3年後期期末テスト範囲入力めきり

本日は  
定時退校日
  です

会議のペーパーレス化

職員会議の資料は事前にフォルダに入れておく。

会議で提案者は読み上げない

→30分程度で終了

The screenshot displays a Windows desktop environment. On the left, a File Explorer window shows the 'This PC' view with a list of drives and folders. A yellow arrow points from the '五日子中学校 (¥¥F2) (N:)' folder to the 'a教職員共通' folder. Another yellow arrow points from the 'a教職員共通' folder to the 'teachers' folder. The 'teachers' folder is expanded, showing a list of subfolders including '30業務業績評価', '30事務業績評価', '自動採点システム', '2018', '2019', '2020', and '職員会議'. The '職員会議' folder is selected. On the right, a PDF document titled '01_R3_01月行事予定.pdf' is open in Adobe Acrobat Reader DC. The document is a calendar for January 2020, titled '令和2年度 1月行事予定'. It lists various events and meetings, including '年末年始休業日', '学年会', '校務会議', '教務会議', and '卒業認定 通常議題'. The calendar is organized by date, with columns for the day of the week, the date, and the event. The '職員会議' column is highlighted in yellow.

日	曜	学 校 行 事	会議	校長教頭 PTA	1年授業
1	金	年末年始休業日			
2	土	年末年始休業日			
3	日	年末年始休業日			
4	月				
5	火	授業・給食開始 全校朝会・生徒会交代式(TV) 清掃なし 学校納入金振替日 学級優先日 部活動なし ★科学学習会	学年会		学 2 3 4 5 総 学
6	水				1 2 3 4 5 〇 1
7	木	13日(水)校内授業研 8:20~8:35 朝読書・SHR 8:45~12:35 1~4校時 12:35~13:15 給食 13:35~14:25 5校時 →2-★以外は直ちに下校 14:45~ 授業研究会	校長会 部会	1 2 3 4 5 6 1 1 2 3 道 5 6 1	
8	金	清掃なし 3年科学学習会			
9	土				
10	日				
11	月	成人の日 3年テスト週間 16日(月)19(火)3年期末テスト 8:20~8:30 SHR 8:35予鈴 8:40~9:30 1校時 9:40予鈴 9:45~10:35 2校時 10:45予鈴 10:50~11:40 3校時 11:50~12:40 4校時 12:55~13:15 給食 13:25~13:35 3年 SHR 13:35~ 12年5校時	教頭会	1 2 3 4 5 総 1 1 2 3 4 5 1 1 2 3 4 5 6 1 1 2 3 道 5 6 1	
12	火	3年科学学習会 安全点検			
13	水	校内授業研 (2-★:理科:市川T)			
14	木	3年科学学習会	特支 推		
15	金	清掃なし 3年科学学習会 ★1,2年盲数成績入力締切	職員 会議		

③採点システムの導入

採点システムを使った採点の流れ

- ① 模範解答をスキャナで取り込み、採点する範囲を指定する。
- ② 生徒の答案用紙をスキャナで取り込む。
- ③ コンピューター画面上に同じ設問の解答を並べて○×をつける。
(串刺し採点)
- ④ 採点結果はコンピュータ上で観点別および合計の点数として一覧表で示される。そのデータを自校の集点表に貼り付ける。
- ⑤ データとして保存された生徒の答案用紙(採点されたもの)をプリントアウトし、生徒に返却する。

串刺し採点のコンピュータ画面

実施日: 2019年07月31日 | 組: 1 | 単元: 1学期終末テスト | 問題: 3年生社会

1 設問: 1 1 / 30 (配点: 2) 出題者選択

2 正答例を表示

3

31.01	□無 2	31.02	□無 2	31.03	□無 2	31.04	□無 2	31.05	□無 2	31.06	□無 2	31.07	□無 2	31.08	□無 2
(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利
31.09	□無 0	31.10	□無 2	31.11	□無 2	31.12	□無 2	31.13	□無 2	31.14	□無 2	31.15	□無 2	31.16	□無 2
(1) 大人の権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利
31.17	□無 0	31.18	□無 1	31.19	□無 2	31.20	□無 0	31.21	□無 2	31.22	□無 2				
(1) 大人の権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 大人の権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 大人の権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利	(1) 子どもの権利				

#	項目	説明

Windows taskbar: e, 人, P, 人

生徒に返却する 答案用紙の イメージ

第3学年社会科期末試験答案用紙

〈 姓 〉 〈 学 部 〉

1	(1) 多岐(多岐)	(2) 個人	(3) 団体連合	(4) 人権	(5) 人権
	(6) A ウ	B ア	C ウ	D ア	(7) ア
	(8) 平等	(9) 多岐(多岐)	(10)		
	(11) 個人	(12)			
2	(1) 平等	(2) 女性	男性	(3) 男女平等の原則	
	(1) ア	(2)			
3	(1) ①②③(正)	④	⑤⑥⑦(正)	⑧	
	(4) ①			② 水俣病	
	(1) 1973年	(2) 環境法			
	(3) A ア	B ア	C ウ	D ア	
4	(1) 自己決定権				
	(2) 多岐(多岐)	(3)			
	(1) 多岐(多岐)	②A	③ 情報公開	④	⑤ クライシス
5	(1) A	B 個人	C マスコミ		
	(2) ① ウ	② イ	(3) B		

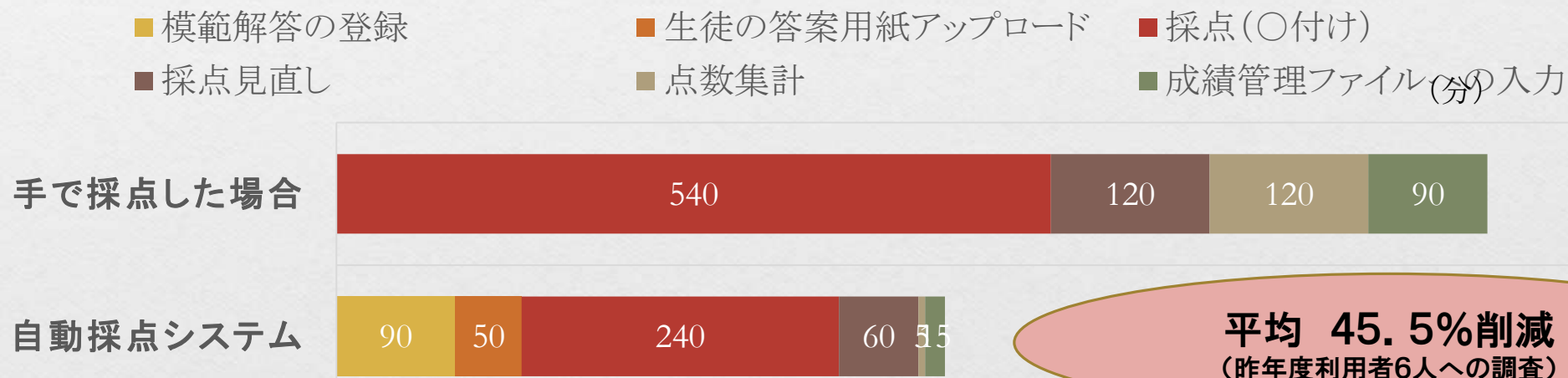
※ 1～3は各2点、5は各3点

採点システムを使ってみて ＜良かったこと＞

業務時間の削減

丸つけ・点数集計・点数の転記および成績ファイルへの入力
の時間がかかなり削減される

自動採点システムで採点した場合の時間短縮の例（1年国語3クラスの場合）



採点システムを使ってみて

<良かったこと>

採点ミスが減る

串刺し採点のため、同じ答えが並び、○つけのミスが少なくなる。
必要な場面で自由に拡大して確認することができる。
正答のみ・誤答のみをそれぞれソートして確認することができる。

答案用紙返却の際の不正防止につながる

PDFやJPEGのデータとして残るため、返却の際に書き直す
などの不正の防止になる

採点システムを使ってみて ＜良かったこと＞

分担して採点できる

クラスごとの採点ではなく、全クラス同時に採点できるので、複数人で問題ごとに分担して採点することができる
同じ人が同じ問題を全員分採点することが可能となり、細かい採点基準を合わせるための打ち合わせに時間をかける必要がなくなる。

学習状況の分析ができる

設問に対してどのくらいの割合の生徒が正答しているか一目でわかるため、どの設問で多くの生徒がつまずいているのかがわかり、授業改善につなげることができる。

採点システムを使ってみて

<課題となったこと>

- ・コンピュータに不慣れな教員にとっては、慣れるまでに時間がかかる。

定着するまでには研修等の時間が必要

- ・システムダウン等のトラブルがあった時の対応
- ・○×△の大きさの設定変更・国語など縦書き教科への使いにくさの解消など

システムの細かい改善が必要

今後の見通し

現在 国語科・社会科・数学科・理科・美術科に導入

次も利用したいと
答えた人 100%

校内体制として全員で利用する方向を模索する

今後の採点システム活用イメージ

テスト前

テスト問題の作成・模範解答設定

テスト直
後

答案をスキャンしてアップロード

採点

分担し、串刺し採点

採点日
などの
設定

採点業務
の分担

入力

校内の成績シートに入力

安心して生活できる 学校づくりのために



- 1 生徒理解のための取組
- 2 生徒一人ひとりの居場所づくり

安心して生活できる学校づくりのために

1 生徒理解のための取組

①学校生活・交友関係アンケートと教育相談

6月

11月(生徒が相談者を選択)

1月(1・2年生のみ)実施

②ASSESSの活用と校内研修会

7月実施→校内研修会で学年で検討

安心して生活できる学校づくりのために

2 生徒一人ひとりの居場所づくり

①学級力向上プロジェクト

- ・学級力アンケートの取組

6月

1月(3年生のみ)

2月(1・2年生のみ)実施

- ・ライフスキル・ソーシャルスキルワーク

研究部と連携したSEL-8Sの取組

安心して生活できる学校づくりのために

2 生徒一人ひとりの居場所づくり

②生徒会のいじめ撲滅の取組

- ・ありがとうカード
- ・いじめ撲滅のためのスローガン作り



安心して生活できる学校づくりのために

2 生徒一人ひとりの居場所づくり

③ふれあいひろばの充実

④絆学習プロジェクト

⑤生徒の自尊感情を育てるための掲示物



1 生徒理解のための取組

①学校生活・交友関係アンケートと 教育相談

6月 学級担任による教育相談

11月 全教職員による教育相談

(生徒が相談者を選択する教育相談)

1月 学級担任による教育相談

教育相談における今年度の工夫

① アンケート結果を支援者会議で持ち寄り、共有、審議をして教育相談に臨む

＊支援者会議のメンバー：
管理職、学年主任、生徒指導主事、教育相談・支援主任、スクールカウンセラー等

1. 1月 学校生活・交友関係アンケート実施

年 組

（印刷）印刷期：10月23日（金）

（印刷）印刷期：11月4日（水）まで

○配布期日：11月12日（水）～11月19日（水）

（対応）1）（1）の質問が記入されているものを、学年主任、教育相談、支援主任、生徒指導主任に提出し、基盤の案件は迅速に対応する！

※①深刻な案件については、管理課、学年主任、生徒指導主任、教育相談、支援主任、担任で話し合いの場を、対象者（児童）と持つ。

2）アンケート回収後、担任は、アンケートの「2. 実情把握でいい」があれば、11月10日（水）までに下の表に記入し、そのコピーを学年主任に提出する。学年主任は、それを参加人数分割し、11月11日（水）の支那者会議に持参する。

3）担任が関心を取り付けた、下記一覧表に記入する。

※②対応の件や被害生徒、保護者の悲しいなどは本校アンケート用紙に書き添える。

※③深刻な案件については、①の動きをする。

※④対応が長期化するものは、担任がアンケートのコピーを保管する。

4）実情・対応後のアンケート用紙は押印の上、11月25日（金）までに教育相談・支援主任へ提出する。

※ワスラのワイルドは、年間の集まりと合わせて提出してください。

姓 名	年 組	性 別	年 組
未回収者			

※アンケートの「2. 実情把握でいい」が複数ある場合は、複数回記入してください。

番号	姓 名			主 要 内 容	被害者 の氏名	その後の 指導と 対応	担当 者
	姓	名	年 組				
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

担任	副担任	学年主任	教育相談 支援主任	生徒指導 主 任	保健室	教務	校長	教育相談 支援主任

（5年関係者）

教育相談における今年度の工夫

②校内研修会の充実

生徒理解とカウンセリングスキルの向上

- ASSESSの研修と
ASSESSの結果の分析
- ゲートキーパーとしての心構えの研修
- 教育相談の進め方と支援が必要な生徒
への対応の仕方の研修

ASSESSの研修と ASSESSの結果の分析



ゲートキーパーとしての心構え 等の研修

心配な生徒
への対応



ゲートキー
パーとしての
役割



カウンセリング マインド等

③教育相談通信

生徒版

自己肯定感の高め方等紹介

保護者版

子育ての
ヒント等の
紹介

[illegible][illegible][illegible]

すくすく五中子

教育相談だより【保護者版】

令和2年12月14日(月)

広島市立五日中学校

教育相談・支援室 島崎 幸子

強制せずに、子どもを伸ばす3つのステップ

最近多く行われているのが「強制」です。子どもを伸ばす人から見て「待つ」の重要性、この重要性が失われています。その中で「ゲームのやりかた」で、日常生活にしろ遊びにしろ、「授業」にしろ、「競争力」が伸びていく。誰でも多くの事ができていく。これにたどり着ける子どもは、ゲームが実行された上で、伸びていきます。

ゲームのやりかたで、日常生活にしろ遊びにしろ、「スママの指導時間や生活にたどり着くことができます。」「**問題の発見と分析**」

1. ゲームのやりかたに合わせ、前向きルールに気づくという家庭と気づいていない家庭がある。
2. 家庭で約束をすつていても、ルールをきいていない家庭と、決めているルールをきいている家庭がある。
3. ペナルティをきいていても、それを実行する家庭と、実行しない家庭がある。

ここで大事なのは、ゲームでトラブルが生じない環境は、「ゲームに強いルールが厳格に、そのルールが守られている」ということです。そして、そのペナルティを必ず実行している。ということですね。

解決策

1. 子どもの生活が問題の中心、決断に促して、ルールとペナルティを子どもにつくらせる。
2. 口頭で約束するのと同時に、自分で決断したルールを紙に書き出して実行できるところに貼っておく。
3. 決断したルールを実行する。ペナルティの実行は達成できなくてもいい。一度実行すると、次からはルールを破る意味がなくて困っているはず。

授業にしろ遊びにしろ、競争力が伸びていく。誰でも多くの事ができていく。強制でもその環境を整え、**問題の発見と分析**【家庭環境】強制されたことは、やらねばならない。決断して実行する。強制になるのを待たない。子どもの生活が問題の中心が解決できていないため、やっても面白くない。

子どもの行動の軌跡は、つまり「子どもがどう思うか、やる気がない」という状態にだけ目が付いてしまふと、それを責められるという環境の狭小化してしまふ。ますます悪化という悪循環に陥っている。

解決策 強制しない。子どもが自ら決断するのを待てる。

1. 決断に促される環境をつくる。

同時に子どもが勝手にできるときは「それが自分の決断。それは間違いない」とを肯定させる。まずは自分で決断することから。

同じような問題をやらせ、「できた!」という感情を少しづつつけていく。

「OK!」と大成功!」の瞬間を待っている。間違っても「まだ間違っている」ということを待たずに、「まだこの問題生じればまたここからやろう」と強制しない。




2. この作業を続けたい。学年のレベルを上げていく。

はじめのうちは、まだ自分で決断しない中で、「でき過ぎず!」と高ぶる。が、「あ、これはちょっと難しいから、間違えてもいいからやろう」と、それまでこの作業までやる。あとは自分で決断して、自分で対処できるようにしていく。が、あつたとき自分で決断するというイメージ。

子
ヒ
紹

[illegible]

④「先生、聞いて！」ボックスの設置



⑤生徒が相談者を選択する 教育相談の進化発展

【ねらい】

○いじめの早期発見と生徒の
実態把握

○困ったことが起きた際の相
談窓口となる教職員を増やす
→早期対応と早期支援

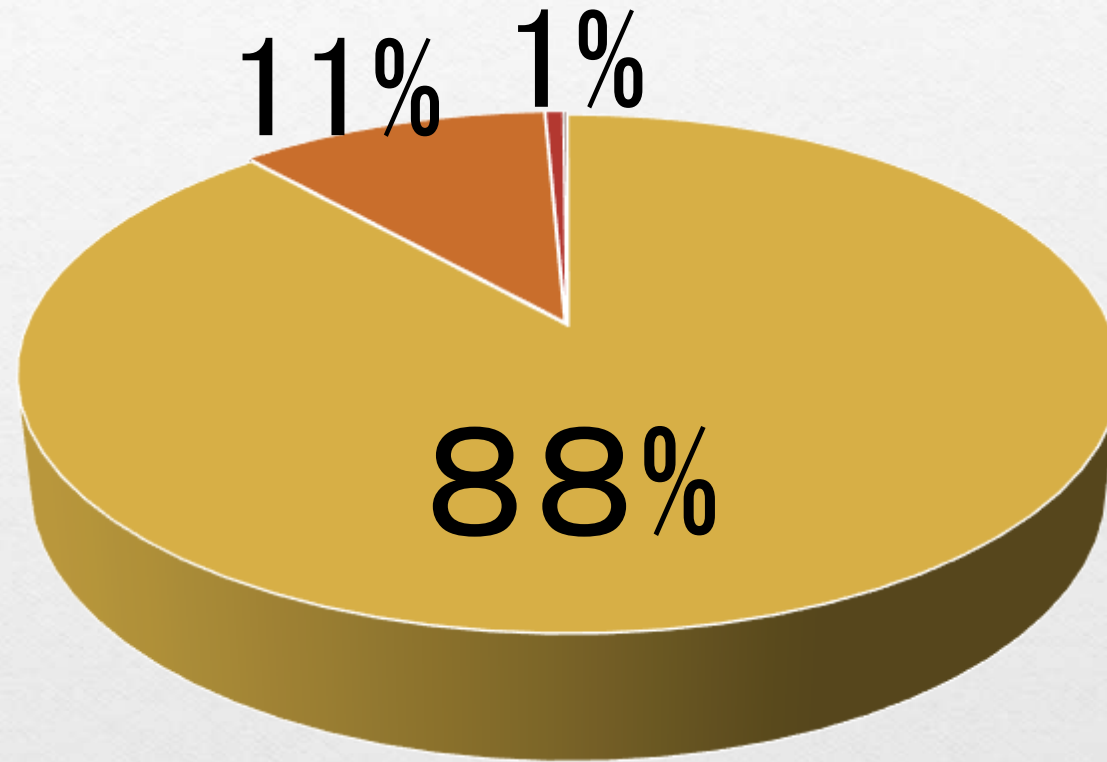
⑤生徒が相談者を選択する 教育相談の進化発展

【ねらい】

- 情報共有と連携→学校全体での支援と外部機関との連携
- 生徒にとって価値ある面談に
- すべての教職員のカウンセリングスキル向上
- 期間中の担任への負担軽減

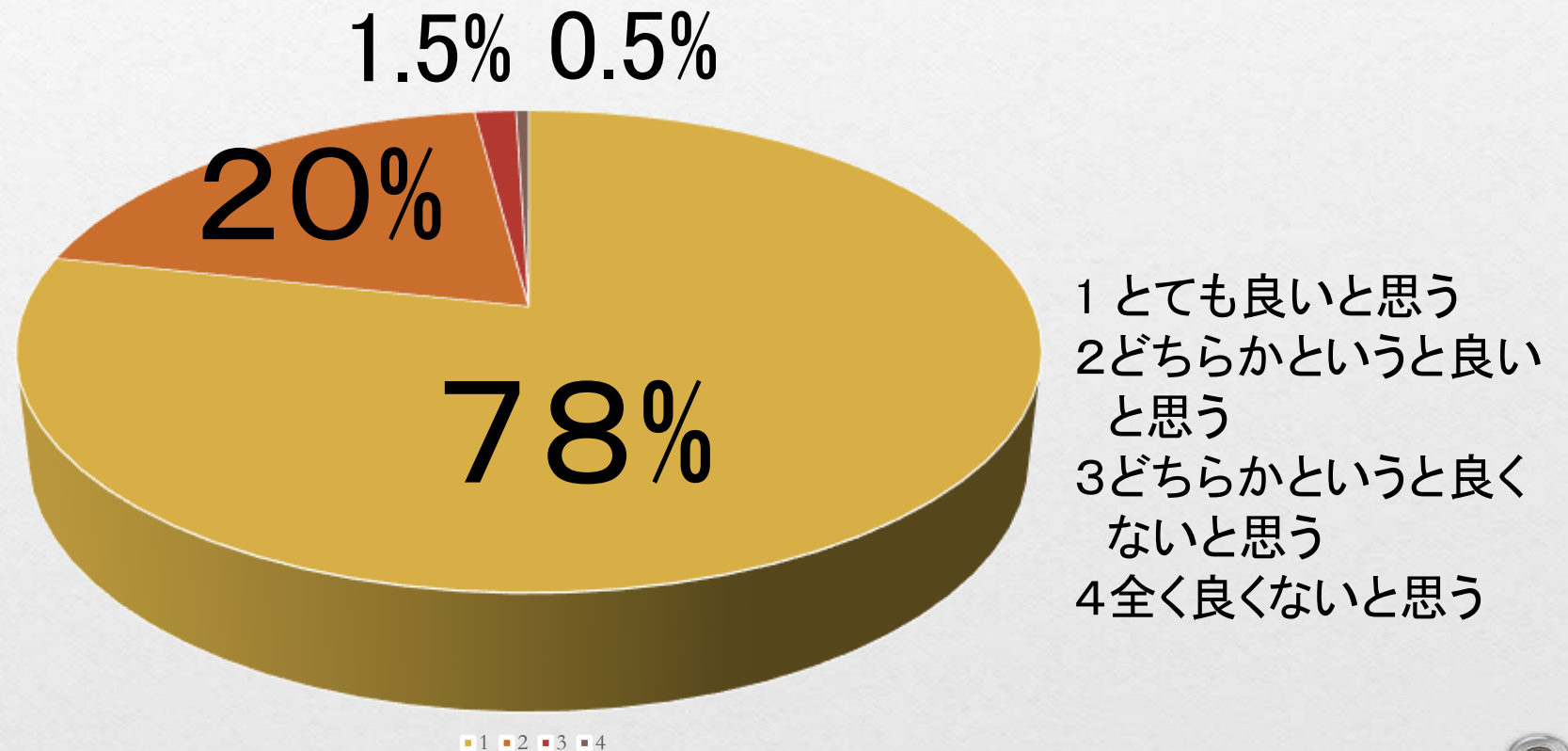
アンケート結果

自分の話を聞いてもらえたか

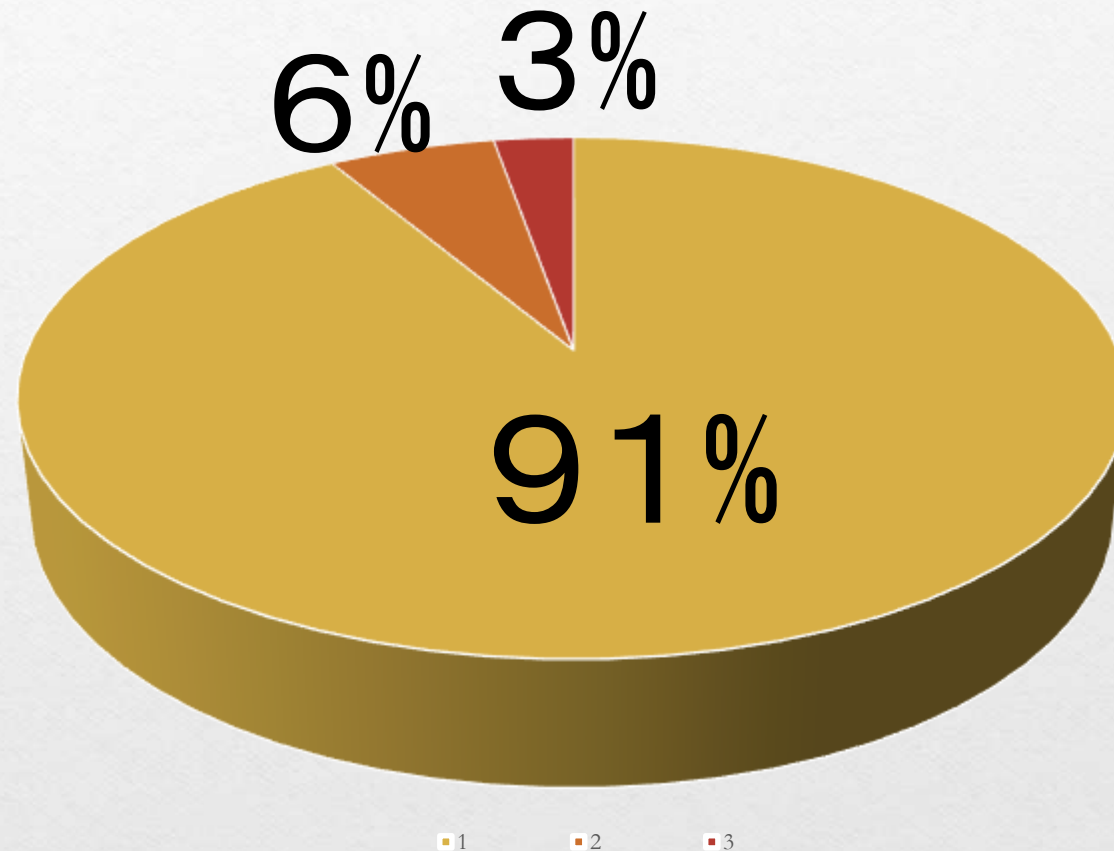


- 1 とても聞いてもらえた
- 2 どちらかという
と聞いてもらえた
- 3 あまり聞いて
もらえなかった
- 4 全く聞いて
もらえなかった

生徒が相談者を選ぶ 教育相談をどう思うか



どのような教育相談が気持ちを話したり、相談したりしやすいか



- 1 生徒が相談者を選ぶ形の教育相談
- 2 学級担任が学級の生徒全員に行う形の教育相談
- 3 その他

安心して生活できる学校づくりのために

2 生徒一人ひとりの居場所づくり

- ①学級力向上プロジェクト
- ②生徒会のいじめ撲滅の取組
- ③ふれあいひろばの充実
- ④絆学習プロジェクト
- ⑤生徒の自尊感情を育てるための掲示物

2 生徒一人ひとりの居場所づくり

①学級力向上プロジェクト

- ・学級力アンケートの取組

7月

1月(3年生のみ)

2～3月(1・2年生のみ)実施

- ・ライフスキル、ソーシャルスキルワーク

研究部と連携したSEL-8Sの取組

①学級力向上プロジェクト

学級力アンケートのねらい

○生徒一人ひとりにとって心の居場所のある生き生きとした「学級・学年集団」づくりをする。

○いじめを未然に防ぎ、いじめを発生させない学級・学年集団づくりをする〈いじめ防止教育〉

学級力アンケートのねらい

- 学級力を向上させるために、生徒たち自身に課題意識と課題解決に参加する意識を持たせる。
- 教師と生徒たちの協同的な学級づくりの取組を支援する。
- 学級経営を、個々の担任のものとせず、学年や学校全体のものとして、学級や生徒たちを見守り支える。

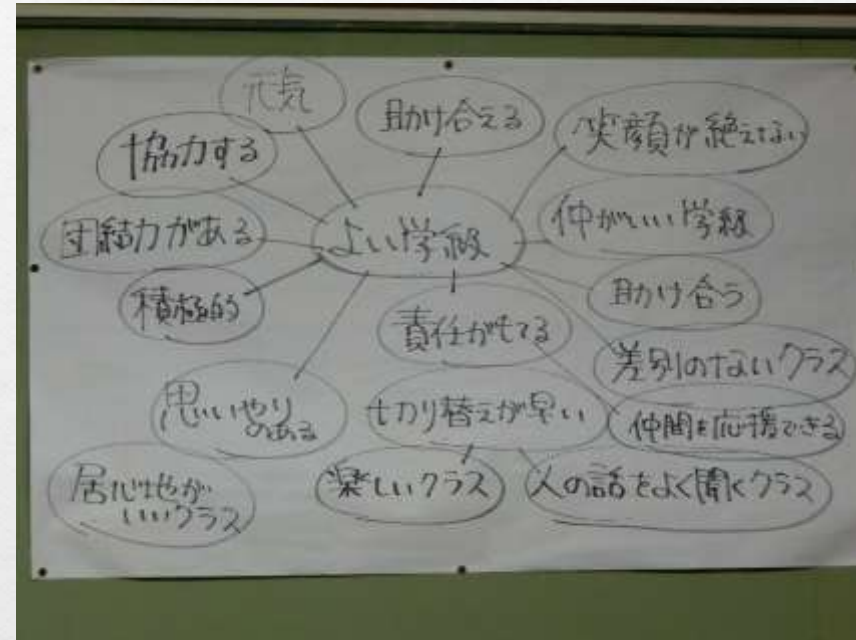
実践内容

スクラムタイム①

・「よい学級とは何か？」

ビッグ・カルタ

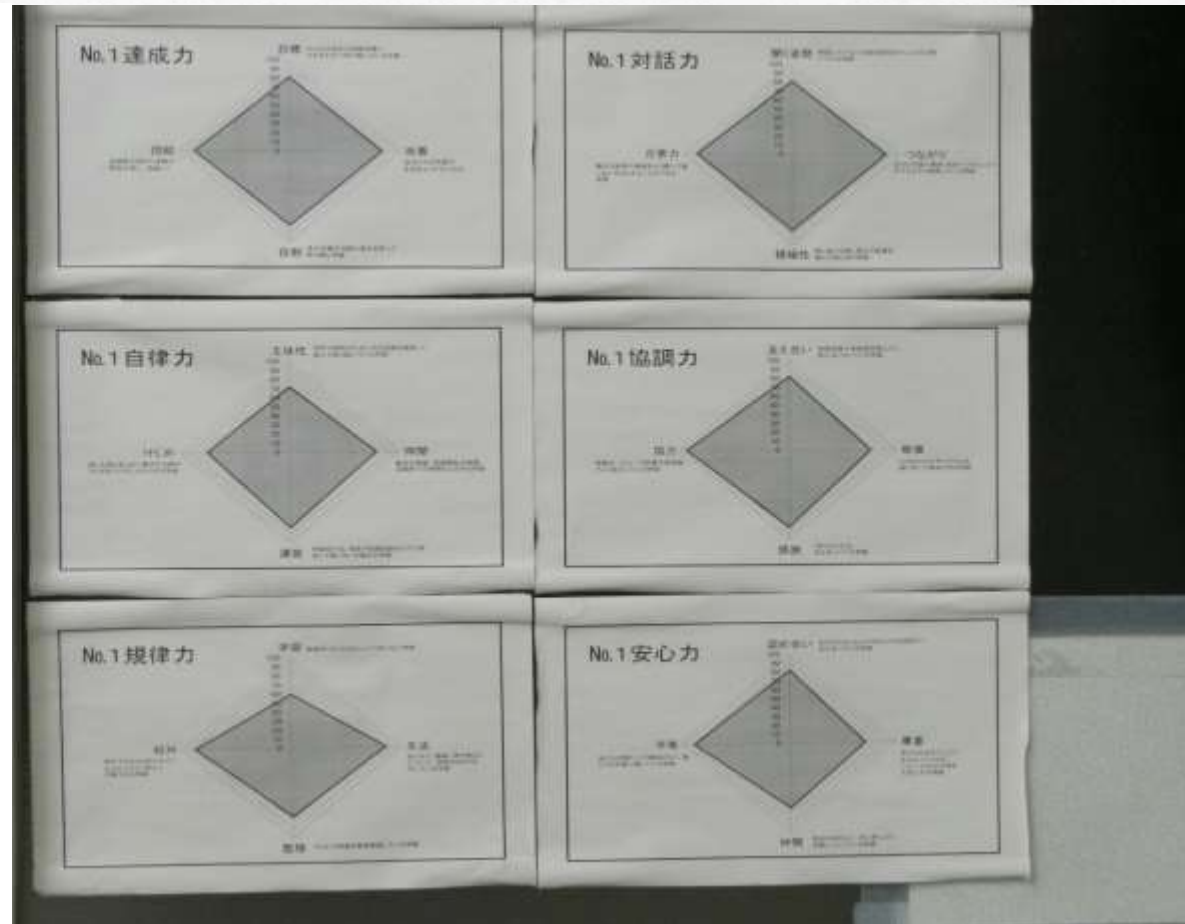
マインドマップ
で考えていく



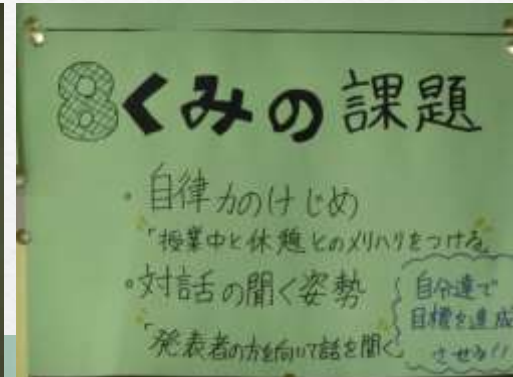
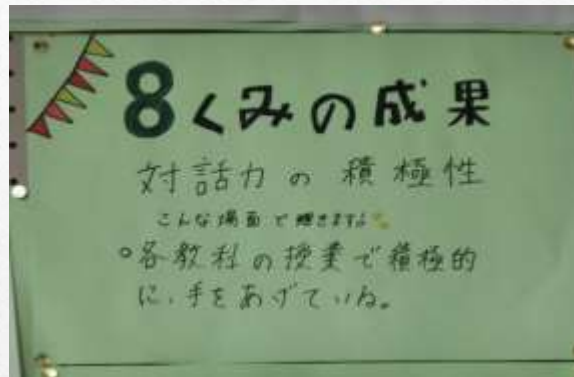
・ 第1回学級力アンケート

「学級力」の6つの領域

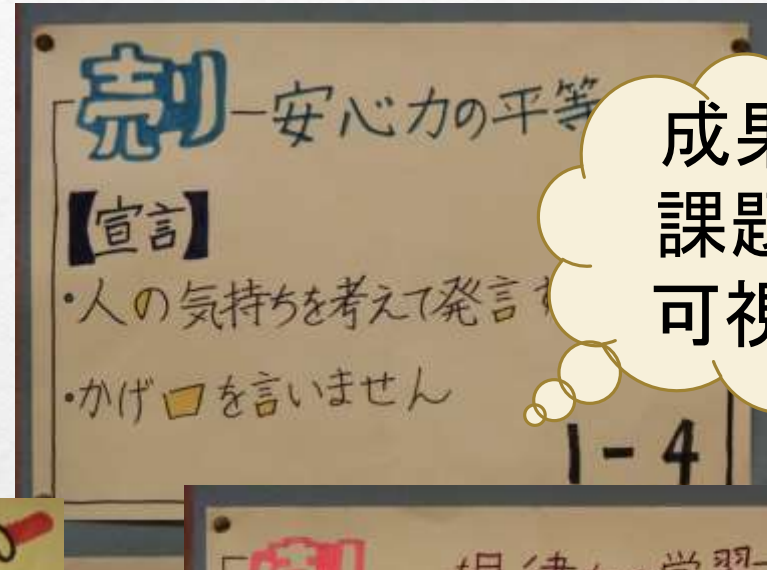
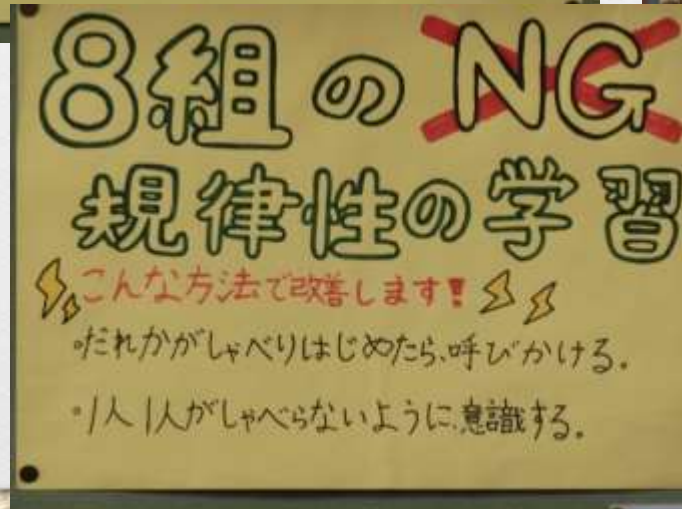
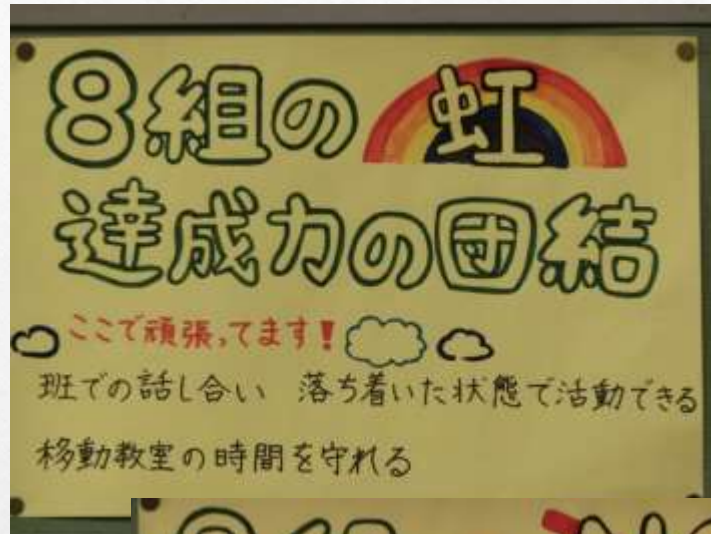
- 達成力
- 自律力
- 対話力
- 協調力
- 安心力
- 規律力



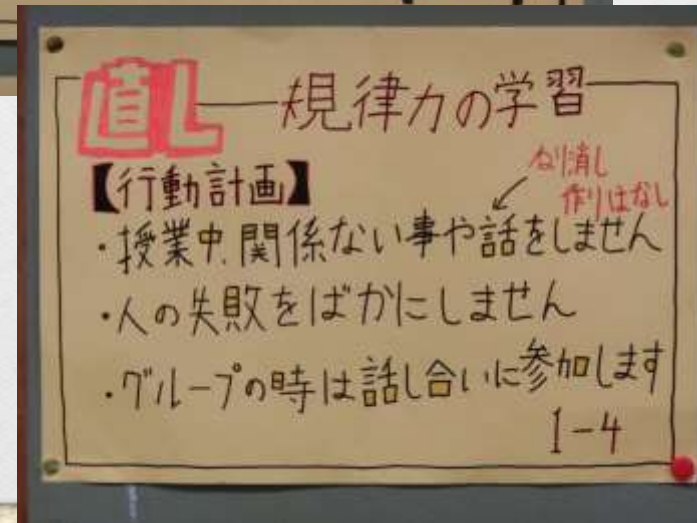
学級力アンケートを基にした レーダーチャートの分析



スクラムタイム②で考えた学級の 『売り(成果)』と『直し(課題)』



成果と
課題を
可視化



ライフスキル・ ソーシャルスキルワーク

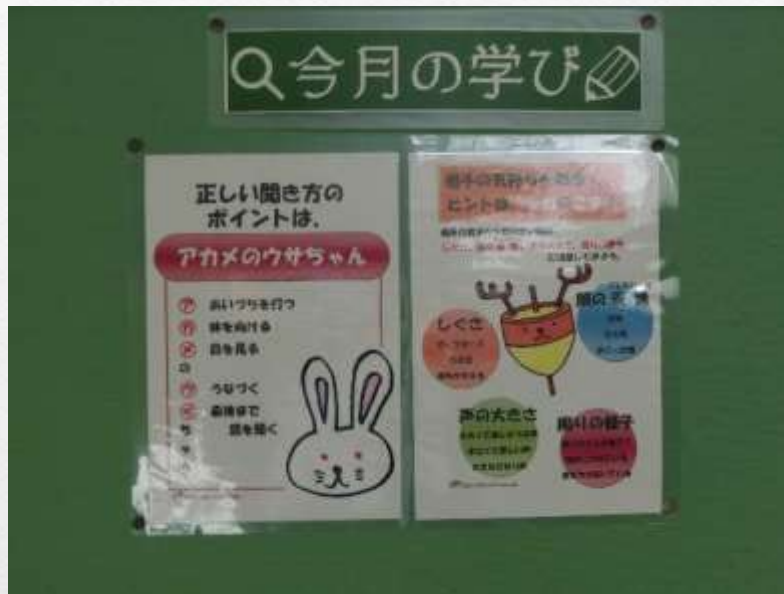
生徒指導部と研究部で連携して
SEL-8Sを推進

- アンガーマネージメント
- ストレスマネージメント
- 人間関係づくり
- いじめ防止等

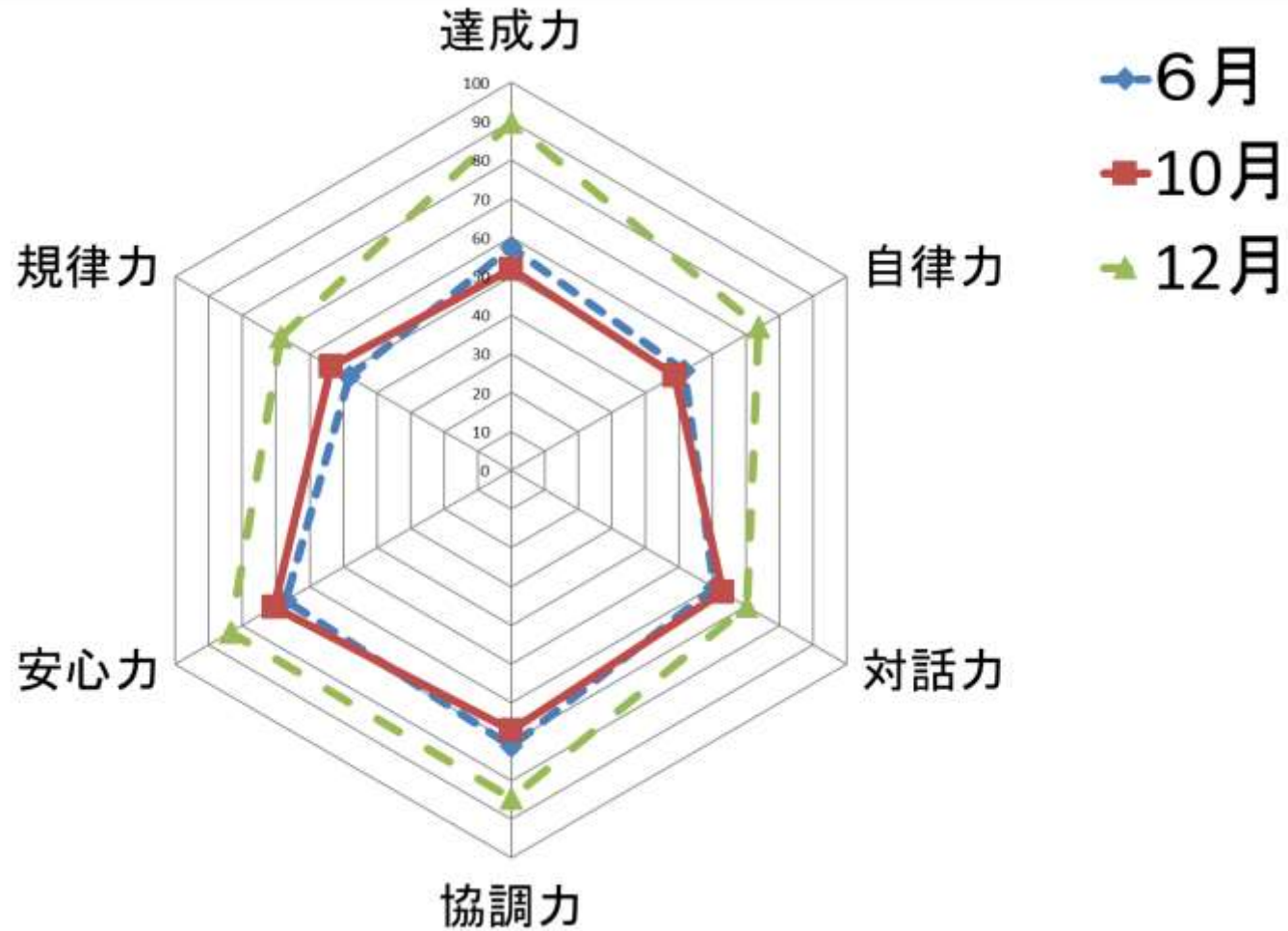
The image shows two pages of a curriculum plan for SEL-8S. The left page is titled 'SEL-8S 実施計画' and the right page is titled 'SEL-8S 実施計画 (続き)'. Both pages contain a table with columns for '学年' (Grade), '学期' (Semester), '単元' (Unit), '内容' (Content), and '備考' (Remarks). The content is organized by grade (1st to 8th) and semester (1st and 2nd). The right page has a '改訂' (Revised) stamp in the top right corner. The tables are filled with detailed descriptions of the SEL-8S activities and their implementation across the school year.



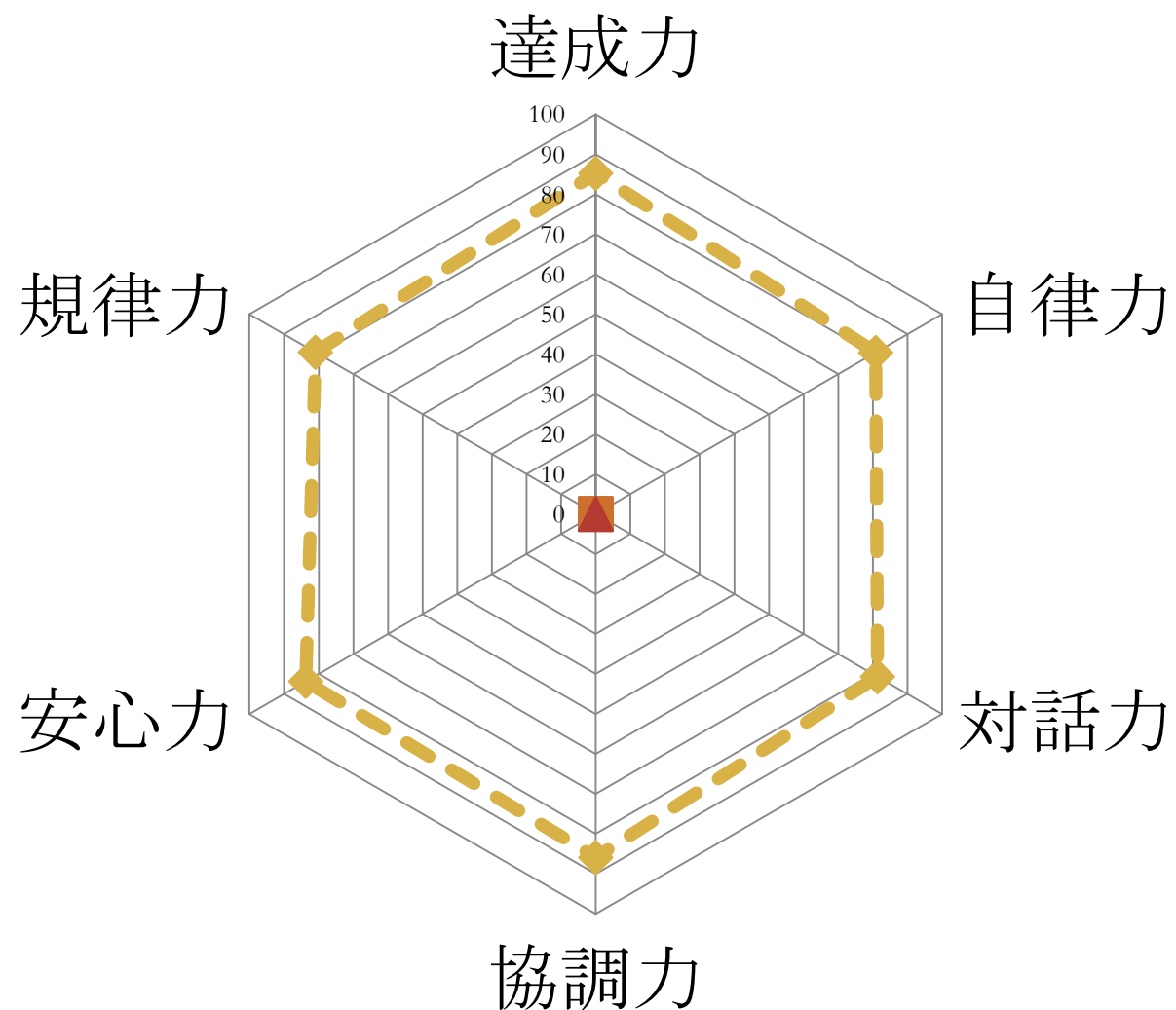
ライフスキル・ ソーシャルスキルワーク後の掲示物



学級力向上プロジェクトでの 平成31年度の学級の成長(第2学年)



令和2年度の学級の レーダーチャート(第3学年平均)



2 生徒一人ひとりの居場所づくり

③ふれあいひろばの充実

- ・スクールカウンセラーとスクール
ソーシャルワーカーとの連携
- ・開設時間の見直し

平成30年度の開設時間

9:00～給食終了まで

令和2年度の開設時間

8:20～16:20

ふれあいひろばの充実

パテーション
で個室に



第2ふれあい
ひろば

ふれあいひろば学習ボード

教室での学習進度

名前 学習計画

個人で計画を立てます

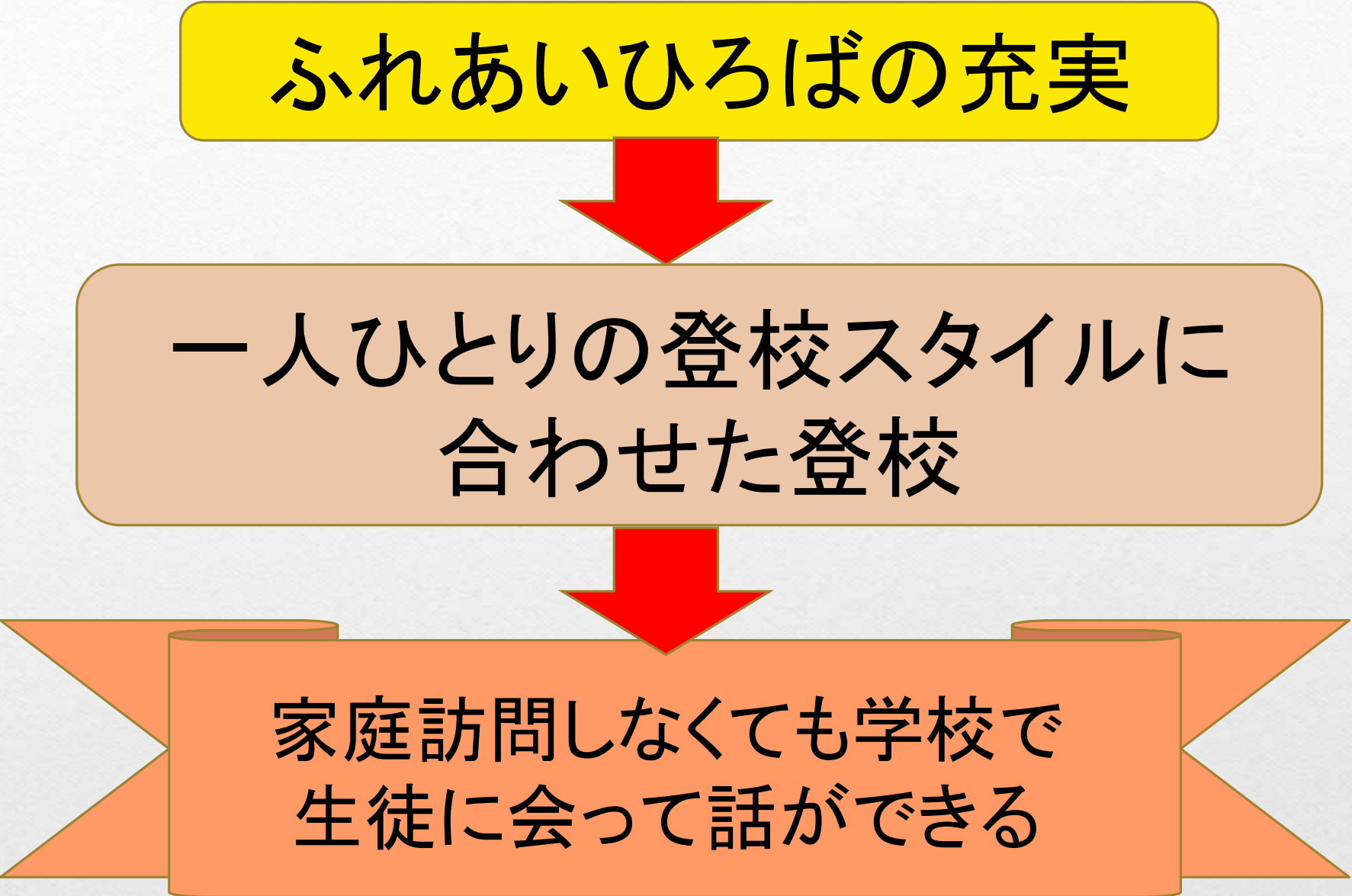
	1年	2年	3年
国語	いろは歌(晴嵐が 竹取物語) 愛憎やうた!	漢詩 書写(毛筆)	故郷
社会	地理 第2章まで おわり。2回は歴史	歴史 第2章 開国と近代日本の歩み	公民 人権と日本国憲法
数学	比例 2章文章(テスト) 3章方程式 おわり!	4章 図形 三角形の合同条件	相似 平行線と比
理科	音→力 光	脊椎動物の分類と 無脊椎動物の分類	エネルギー 力学的エネルギーに ついて
英語	Lesson 6 いろいろな疑問文	Lesson 6 助動詞	L6
音楽	歌「赤とんぼ」p24 ・リコーダー「喜びの歌」p4 ※両方とも楽譜テストの課題曲です。 (1年・2年)	歌「花の季節」 ・リコーダー「威風堂々」p14 ※両方とも楽譜テストの課題曲です。 (2年・3年)	リコーダーテスト 「コンドルは飛んでいく」
美術	・遠近法	・女様 飾りのコースター ・79cm74cm	建築模型
保体 男子	柔道	バレー	バレーボール
保体 女子	バレーボール	バスケットボール	走り幅跳び
技家	生活と社会の情報 三原組の移住	④木材加工 ⑤調理実習	⑥グイモラジオライト製作 ⑦幼児との関わり方

ふれあいひろばの利用者数の推移

	平成30年度	平成31年度	令和2年度 (12月末現在)
全校 生徒数	870人	866人	876人
長期欠席 者数	52人	48人	49人
ふれあい ひろば 利用者数	16人	26人	31人

約2倍

ふれあいひろばの充実

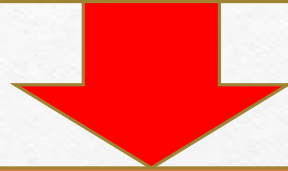


```
graph TD; A[ふれあいひろばの充実] --> B[一人ひとりの登校スタイルに  
合わせた登校]; B --> C[家庭訪問しなくても学校で  
生徒に会って話ができる];
```

一人ひとりの登校スタイルに
合わせた登校

家庭訪問しなくても学校で
生徒に会って話ができる

学校で生徒に会って話ができる



教職員の家庭訪問の回数
を減らすことができる



働き方改革にもつながる

まとめ ～成果①～

2年間の取組を通して、働き方改革についての意識は高まり、今の働き方に満足している人が増えた。

- 自校の働き方改革についての意識は高まっていますか？

肯定的評価 今年度 73.9% 昨年度 69.1%

- あなたは在校等時間を縮減させるための取組を実践していますか？

肯定的評価 今年度 80.9%

- 今の働き方に満足していますか？

肯定的評価 今年度 50.0% 昨年度 27.6%

まとめ ～成果②～

部活動指導員や採点システムなどの活用に関して、一部の顧問・教員の負担軽減でなく、組織として負担軽減になる方法を試行することができた。

定時退校日の設定や会議のペーパーレス化・会議運営の方法の工夫などにより、定時退校しやすくなった。

- 設定された定時退校日において、業務の進め方の工夫等を行うことにおいて定時退校しやすくなったと思いますか？

肯定的評価 今年度 75.6%

まとめ ～成果③～

ASSESSの分析や教職員研修を行ったり、教育相談の実施方法を工夫したりしたことで、より一層生徒理解を深めることができた。

- 生徒アンケート「自分の話を聞いてもらえたか？」 肯定的評価 今年度 **99%**
- 教職員アンケートの記述・・・「色々な生徒と教職員がつながることができた。」
「『担任以外の先生でも相談していい』と子どもが認識できた。」など

生徒一人ひとりにとっての居場所をつくる取り組みをすることによって、学級が成長したり、長期欠席だったが教室復帰した生徒やふれあいひろばに登校できるようになった生徒が増加したりした。

- 長期欠席者数の減少とふれあいひろば利用者数の増加
一昨年度→今年度 長期欠席者： 52人→49人
ふれあいひろば利用者：16人→31人・・・**約2倍に増加**

まとめ ～今後に向けて～

- 部活動指導員配置の充実が今後実現すれば、働き方改革に直結すると考えられる。
- 現段階ではまだ採点システムを全員が使う段階になっておらず、結果の検証はできていないが、業務改善の効果が期待される。
- 教育相談での、生徒が選択できる相談相手の選択肢をさらに広げることにより、生徒の思いに一層寄り添えるようにしていくことが必要であるが、そのための事務作業の簡略化も考える必要がある。

五日市中学校が取り組んだこと ～2年間のまとめとして

学校教育目標

自ら学び 仲間と協働して 未来に向かって挑戦する生徒の育成

自学

基礎学力の定着と
思考力・判断力・
表現力の育成

自尊

自尊感情・道徳性の
醸成

自律

意欲や感情を
コントロールする力
の育成

いじめ防止対策の取組

働き方改革の取組